

「つかこうへいと筑豊研究会」7月の活動報告

3度目の「すかぶら忌」を7月8日(日)開催

つかこうへいは2010年7月10日、62歳の若さで亡くなりました。7回忌あたる2016年7月10日の命日に、同級生やファンが集まり1回目のしのぶ会を嘉麻市の善照寺において開催。その後、「つかこうへいと筑豊研究会」を設立。

以来、つかこうへいの命日に嘉麻市の善照寺において昨年は7月9日に、今年は7月8日にしのぶ会「すかぶら忌」を開催しました。

❖今年も7月の豪雨を乗り越えて

昨年は7月5、6日に福岡・大分を襲った九州北部豪雨後の9日に、2回目の「すかぶら忌」の開催となりましたが、今年もまた奇しくも7月5日に北部九州を襲った豪雨は中国・四国・近畿地方など広範囲に甚大な被害をもたらした西日本豪雨の最中の8日に3回目の「すかぶら忌」となりました。

当日は、前々日の豪雨で通行が制限されるなか、福岡や田川などから万難を排して12人の方々にご参集して頂き、無事3度目の「すかぶら忌」を開催することができました。

13時30分から善照寺の西原成之和尚に法要のお経をあげて頂き、その後、参加者全員が山田高校当時の学生服姿のつかこうへいの写真（元山田高校教授・永吉博義氏撮影）に手をあわせて、お焼香をして在りし日のつかこうへいを偲んでいただきました。

その後、ドキュメンタリー映画『抗い 記録作家 林えいだい』（1時間40分）を上映。上映後、思い思いに映画の感想や意見の交換。田川市から駆けつけて来られた参加者の一人は、「林えい代は田川出身だから、田川でも上映をしてほしい」といった意見や、生前、林えい代と懇意にしていたという参加者からは、お酒が大好きだったというえい代氏が、行きつけのお店で客と誰とでも気さくに語っていたという人柄などの紹介もあり、時間の経つのも忘れ話が弾みました。

また、6月の定例会で講演をしていただいた森川登美江さん（福岡アジア文化センター所長・大分大学名誉教授）は、大学でアジア文学を担当されていた折に、記録作家・林えいだいのアラン文庫を訪ねたことから交流が始まったとのこと。

林えい代は、特に筑豊炭鉱の強制労働者たちの取材をはじめ、北九州の公害問題、カネミ油症など主に日本社会の闇の部分取材した日本を代表する記録作家として知られています。森川さんは、林えい代の取材に同行する中で、綿密な聞き取り調査をする取材姿勢や取り組み方に共鳴、人格に惚れて経済的支援など積極的にされました。えい代氏亡き後はアラン文庫の貴重な資料の保存に取り組みられ、また記録映画『抗い』の上映を各地で開催されています。

❖ 筑豊出身の作家たちと「すかぶら」

因みに「すかぶら」とは、筑豊弁で、特に炭鉱労働者の間で使われた方言で「仕事をせずに、噂話やバカ話をしては周りの雰囲気を和ませて笑わせる“怠け者、”という意味。つかこうへいは、生前この「すかぶら」について、あらゆる場でいろんな人たちに面白おかしく語って聞かせています。

同じ筑豊は田川市に住み、自ら炭鉱労働者となり坑夫の話を聞き書きした『地の底の笑い話』（最近岩波新書でアンコール復刊）の著者・上野英信も、その中で「1秒後の生命の保証もない坑内労働のあいまあいま、折にふれて老坑夫たちの語る、懐かしい笑い話」を集めては、生き生きと炭鉱労働者を描いています。

記録作家の林えいだいと上野英信は、筑豊で炭鉱労働者の取材をしていたことから交流があり、お互いに炭鉱労働者の中でも強制労働者や炭鉱閉山後の労働者たちを追いかけて取材をしています。

上野英信、林えいだいよりも一回り若いつかこうへいも筑豊に生まれで、炭鉱で働く労働者たちに囲まれて育っています。明日の命の保証もない炭鉱労働者たちに笑い振りまき、場を和ませる「すかぶら」の存在を、いろんな場で語り聞かせています。

筑豊が生んだ反骨精神旺盛な、偉大な三人の作家たちの共通点は、以外にも地底で命がけで労働をする環境の中でも労働者仲間たちを笑わせて「遊び心」や「ゆとり」を忘れなかった「すかぶら」の精神と共通するのではないかと思えてきました。

「つかこうへいさんのお話～スカブラ（2）」というブログの中で、「そもそも、私たちのやっている芝居というものは、社会や世の中における『遊び』のようなものだと思うのです」と、湯布院のある集まりで話していたことが語られています。

つかこうへいの命日に、世知辛い世の中でも“すかぶら精神、”を大切に「すかぶら忌」をこれからも細々と続けていきたいと思っています。

◇つかこうへいの生誕 70 周年の取組みについて

つかこうへいは 1948 年 4 月 24 日生まれ。今年生誕 70 周年です。「つかこうへいと筑豊研究会」では今後、生誕 70 周年の取組みとして以下のような計画を予定しています。詳細が決まりましたら順次お知らせいたします。

(1) つかこうへい生誕 70 年記念公演「つか版忠臣蔵」を観劇

*大分公演日 10 月 24～25 日(木)

大分公演の観劇ツアー {公演観劇後 9 プロジェクト劇団員や元大分劇団員との交流会、大分でのつかこうへいの足跡を辿るツアーなど}

(2) 生前つかこうへい劇団による公演ポスター展とトークイベントを計画中

